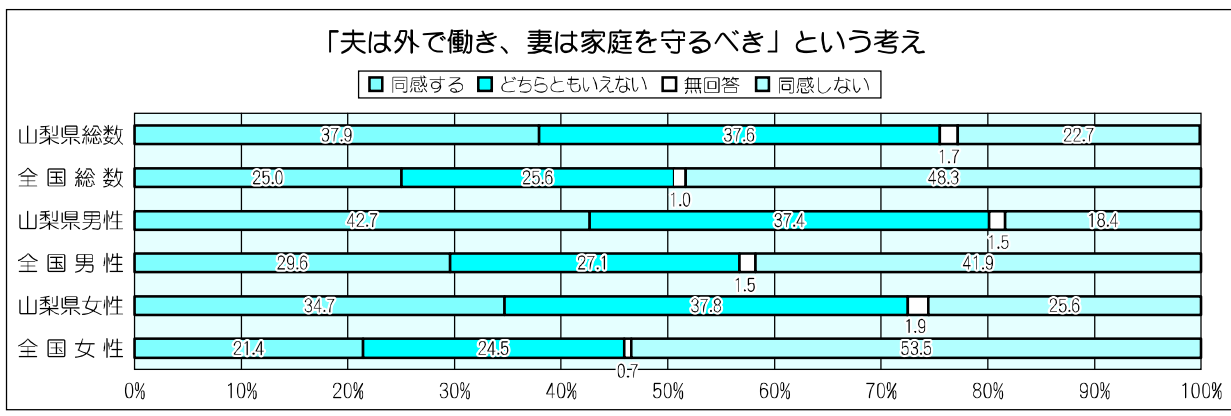


## Ⅱ 本県の男女共同参画の推進状況等

# 基本目標1 男女共同参画社会を形成するための意識改革

## 重点目標1 男女平等意識の醸成

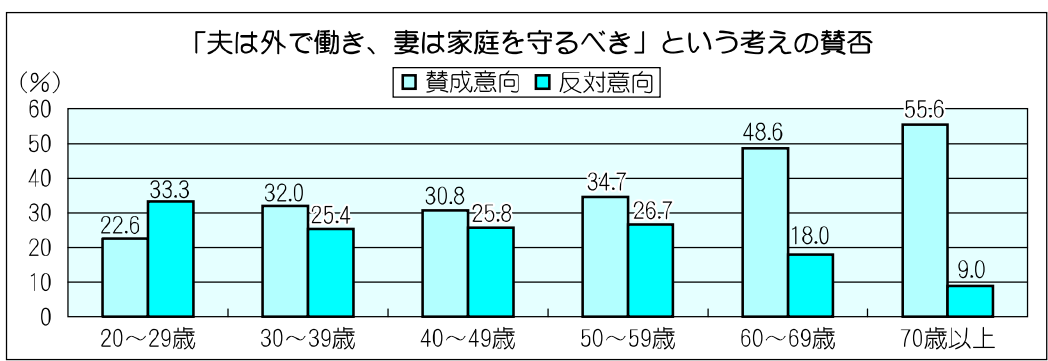
### (1) 男女共同参画へ向けた県民意識の形成



(資料：内閣府 平成12年「男女共同参画に関する世論調査」)

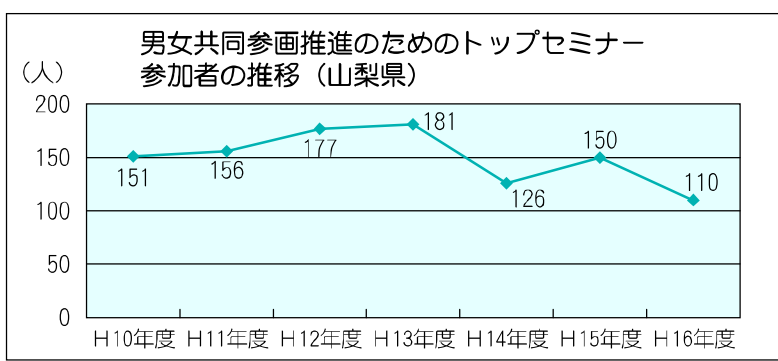
(資料：男女共同参画課 平成12年度「男女共同参画に関する県民意識・実態調査」)

○本県においては、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考えに同意する人が37.9%（全国25.0%）、同意しない人が22.7%（全国48.3%）であり、同意する人の割合が全国に比べ多くなっています。



(資料：男女共同参画課 平成12年度「男女共同参画に関する県民意識・実態調査」)

○年代別で見ると、賛成意向は60歳以上で特に高く、20歳代のみ反対意向が賛成意向を上回っています。



(資料：男女共同参画課調べ)

○男女共同参画の意識が更に浸透するよう市町村長、事業主等を対象としたトップセミナーを開催しています。

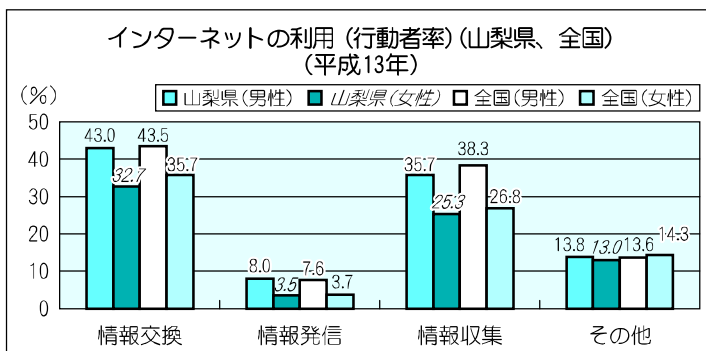
## (2) メディアにおける女性の人権の尊重

### 男女共同参画推進の情報誌等の発行等状況（山梨県）

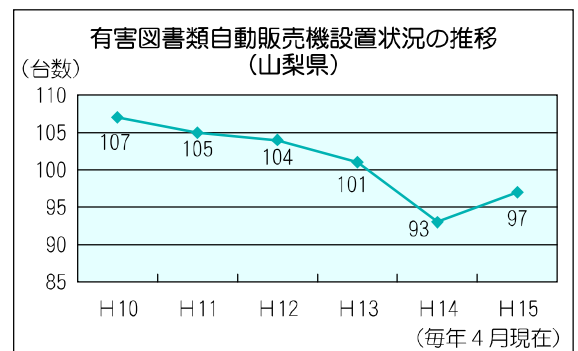
| 区分       | H12年度  | H13年度                                       | H14年度                                       | H15年度  |
|----------|--|---|---|--|
| 男女共同参画課  | ・情報誌9,000部<br>・啓発用冊子30,000部<br>・DV防止カード10,000枚 | ・情報誌9,000部<br>・啓発用カレンダー1,000部               | ・情報誌9,000部<br>・啓発用冊子13,500部                 | ・男女共同参画年次報告書500部<br>・情報誌9,000部<br>・DV防止啓発パンフレット2,000部<br>・DV防止カード30,000枚 |
| 総合女性センター | ・広報誌2,000部<br>・蔵書等（図書、ビデオテープ、カセットテープ）2,177点    | ・広報誌2,000部<br>・蔵書等（図書、ビデオテープ、カセットテープ）2,236点 | ・広報誌2,000部<br>・蔵書等（図書、ビデオテープ、カセットテープ）2,316点 | ・広報誌2,000部<br>・蔵書等（図書、ビデオテープ、カセットテープ）2,634点                              |
| 峡南女性センター | ・広報誌1,100部<br>・蔵書等（図書、ビデオテープ、カセットテープ）669点      | ・広報誌1,100部<br>・蔵書等（図書、ビデオテープ、カセットテープ）750点   | ・広報誌1,100部<br>・蔵書等（図書、ビデオテープ、カセットテープ）841点   | ・広報誌1,100部<br>・蔵書等（図書、ビデオテープ、カセットテープ）841点                                |
| 富士女性センター | ・広報誌2,000部<br>・蔵書等（図書、ビデオテープ、カセットテープ）1,603点    | ・広報誌2,000部<br>・蔵書等（図書、ビデオテープ、カセットテープ）1,684点 | ・広報誌2,000部<br>・蔵書等（図書、ビデオテープ、カセットテープ）2,564点 | ・広報誌2,000部<br>・蔵書等（図書、ビデオテープ、カセットテープ）2,747点                              |

（資料：男女共同参画課調べ）

○本県では、男女共同参画推進のため、各種の情報誌等を発行をしています。女性センターでは、蔵書等の貸し出しを行っています。



（資料：総務省統計局 H13年「社会生活基本調査」）



（資料：青少年課調べ）

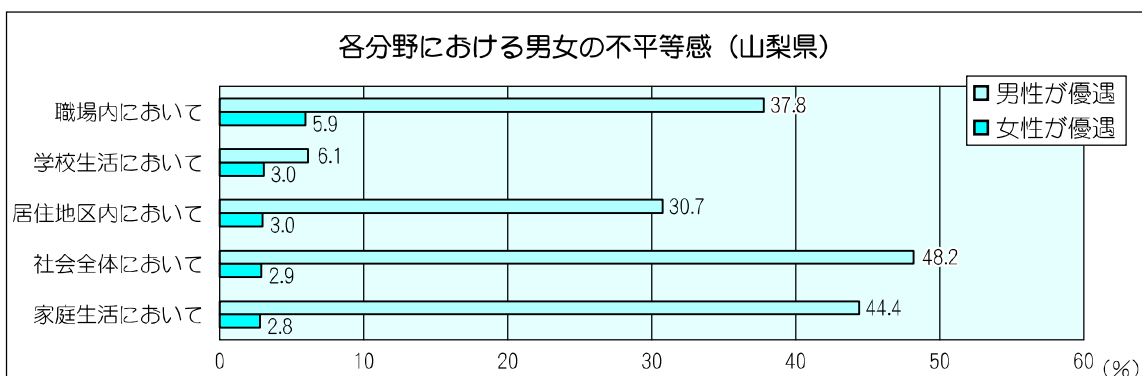
○本県では、「情報交換」「情報発信」「情報収集」「その他」全てにおいて、男性の利用が多くなっています。

○有害図書類自動販売機の設置台数は、減少傾向だったが、平成15年度は増加しています。

※行動者率＝行動者数／属性別の人口（10歳以上の人口）×100

## 重点目標2 男女平等を推進する教育と学習内容の充実

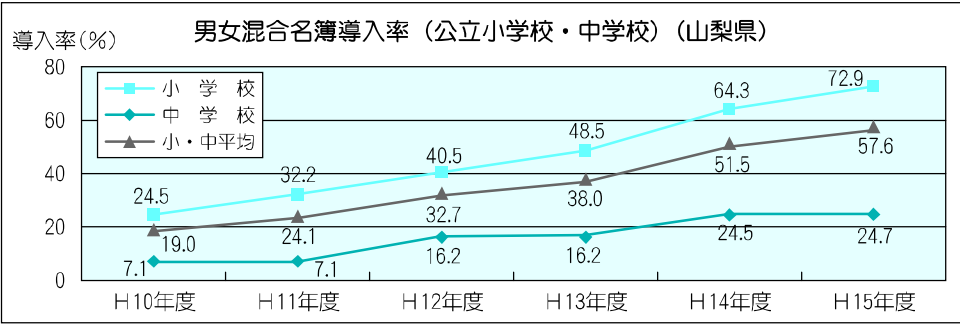
### (1) 学校教育等における男女平等教育の推進



（資料：男女共同参画課 平成12年度「男女共同参画に関する県民意識・実態調査」）

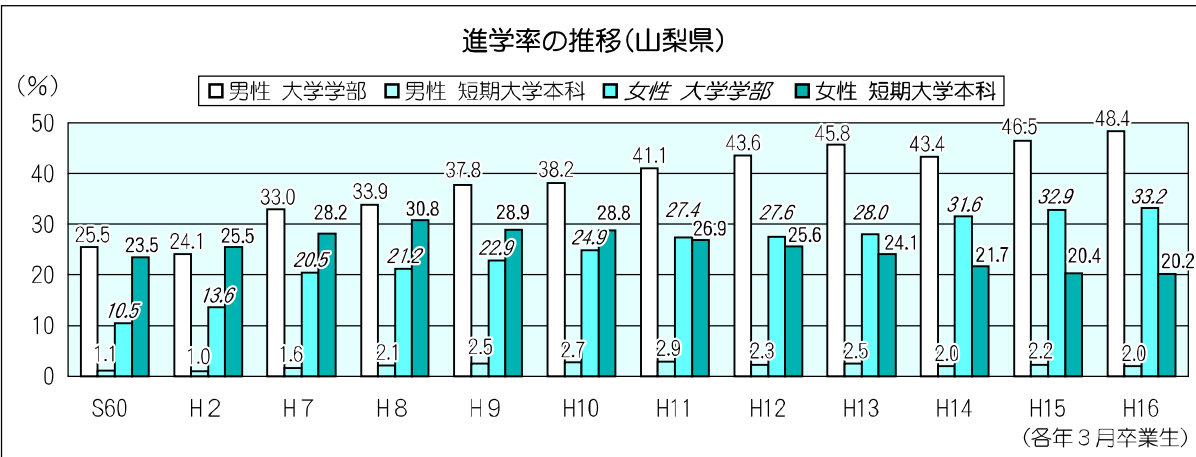
○各分野における男女の不平等感について、「社会全体」「家庭生活」「職場内」「居住地区内」では男性優遇の割合が高くなっていますが、「学校生活」では男性優遇の割合は低くなっています。

**数値目標**  
**男女混合名簿導入率（小学校及び中学校）**  
**H18年度：76.0%以上**  
**（H13年度公立学校38.0%）**



（資料：山教組、義務教育課調べ）

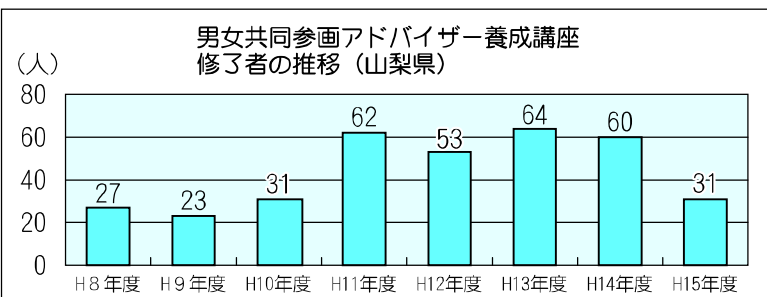
○小学校は、平成10年度24.5%から平成15年度72.9%と、この5年間で48.4ポイント上昇しています。中学校は、平成10年度7.1%から平成15年度24.7%と17.6ポイント上昇しています。



（資料：教育庁総務課「教育便覧」）

○高等学校卒業後の進学者で、平成16年3月卒業生は、男性大学学部48.4%、女性大学学部33.2%となっています。昭和60年3月卒業生と比較すると、男性大学学部は22.9ポイント、女性大学学部は22.7ポイント上昇しています。

## (2) 家庭等における男女平等教育の推進



（資料：社会教育課調べ）

○男女平等をめぐる意識改革のための学習の充実を図り、職場や地域の活動に男女が共同して参画できるよう、指導・助言にあたるアドバイザーの養成を行っています。

### (3) 生涯学習における男女平等教育の推進

やまなしまなびネットワーク

|       |          |
|-------|----------|
| アクセス数 | 221,032件 |
|-------|----------|

※(H14. 4. 1～H16. 4. 30)

(資料：生涯学習文化課調べ)

キャンパスネットやまなし入学者数

| 区 分     | 男 性 | 女 性   | 計     |
|---------|-----|-------|-------|
| 入 学 者 数 | 595 | 1,054 | 1,649 |

単位：人

※H16. 4. 19日現在

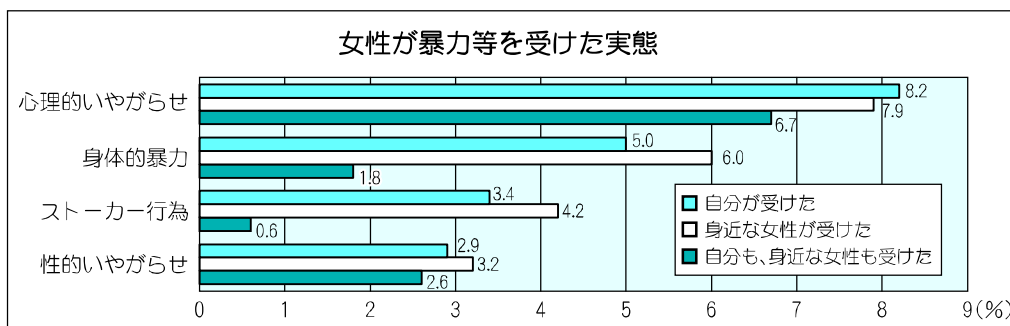
(資料：生涯学習文化課調べ)

○インターネットを利用した「まなびネットワーク」により学習情報等の提供を行っています。

また、「キャンパスネットやまなし」の入学者が、その学習成果を生かせるよう、機会等の充実を図っています。

## 重点目標3 女性に対するあらゆる暴力の根絶

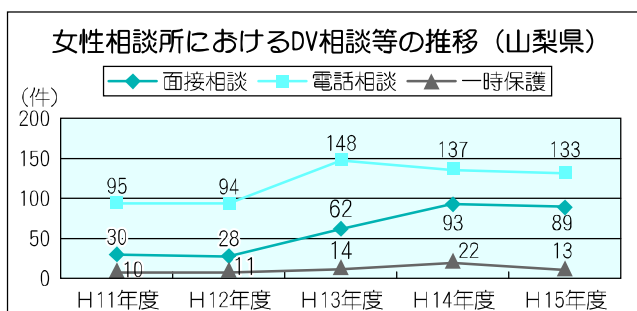
### (1) 暴力を根絶するための基盤づくり



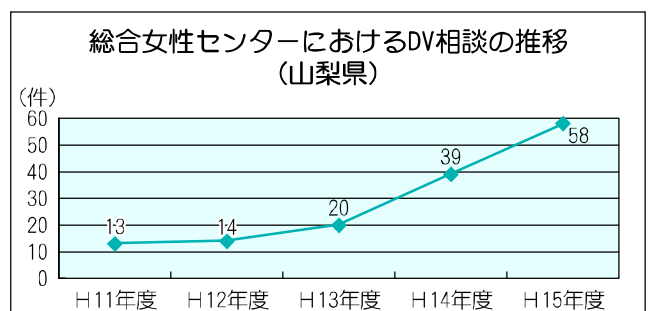
(資料：男女共同参画課 平成12年度「男女共同参画に関する県民意識・実態調査」)

○女性に対する暴力は、人権尊重の基本理念を踏みにじり、男女共同参画社会の実現を阻害するものです。女性に対する暴力が根絶され、女性が一人の人間として尊重される社会環境づくりに向け、暴力防止の普及啓発や被害を受けた女性への支援を行っています。

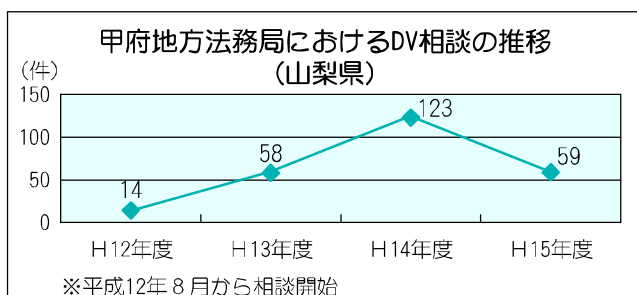
### (2) 配偶者・パートナー等からの暴力の根絶



(資料：山梨県女性相談所「女性保護事業のあらまし」)



(資料：山梨県総合女性センター「業務概要」)



※平成12年8月から相談開始

(資料：甲府地方法務局調べ)

## 警察におけるDVに関する相談件数

| H13年 | H14年 | H15年 |
|------|------|------|
| 58件  | 70件  | 52件  |

(資料：警察本部生活安全企画課調べ)

## 警察におけるDV防止法による保護命令事件

| H13年 | H14年 | H15年 |
|------|------|------|
| 1件   | 12件  | 7件   |

※全て接近禁止命令

(資料：警察本部生活安全企画課調べ)

○県内では、DV相談を、女性相談所、総合女性センター（H16年度から男女共同参画推進センター ぴゅあ総合に名称変更）、甲府地方法務局人権擁護課、各警察署で行っています。

平成13年10月に「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」が施行されて以来、配偶者等からの暴力による相談件数は、相当数あります。

※「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」は、一部改正され、平成16年12月2日から施行。

※DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、配偶者・パートナー等からの暴力をいいます。

## (3) セクシュアル・ハラスメントの防止対策の推進

## セクシュアル・ハラスメントの有無

| 区 分 | 事業所調査 |       | 女性従業員調査 |       |
|-----|-------|-------|---------|-------|
|     | H12年度 | H15年度 | H12年度   | H15年度 |
| ある  | 2.9%  | 3.8%  | 16.1%   | 21.3% |
| ない  | 79.3% | 79.9% | 78.5%   | 75.9% |

(資料：労政雇用課「女性労働者就業実態調査」)

## 山梨労働局雇用均等室に寄せられた職場におけるセクシュアル・ハラスメント相談件数

|       |     |
|-------|-----|
| H12年度 | 33件 |
| H13年度 | 40件 |
| H14年度 | 42件 |
| H15年度 | 28件 |

(資料：山梨労働局雇用均等室調べ)

○本県の調査によると、事業所、女性従業員ともに、平成12年度と平成15年度を比較すると、「セクシュアル・ハラスメントがある」との回答が増加しています。

## (4) ストーカー行為等への対策

## 「ストーカー行為等の規制等に関する法律」による検挙件数

| H13年 | H14年 | H15年 |
|------|------|------|
| 1件   | 2件   | 1件   |

(資料：警察本部生活安全企画課調べ)

## ストーカーに関する相談件数

| H13年 | H14年 | H15年 |
|------|------|------|
| 90件  | 33件  | 25件  |

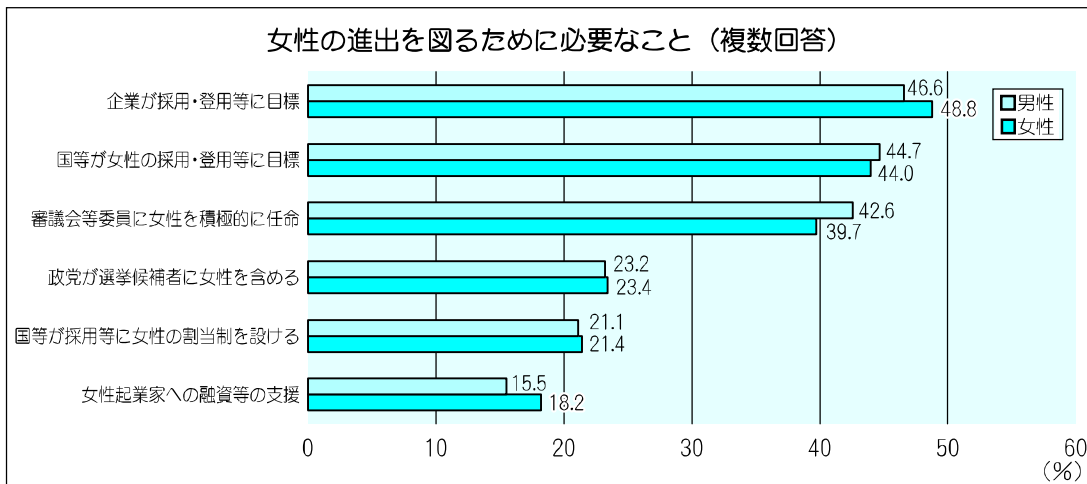
(資料：警察本部生活安全企画課調べ)

○ストーカー行為等を防止するため、その根絶に向けた意識啓発、取締まりの強化などの取組を推進しています。

## 基本目標2 男女共同参画による豊かな社会づくり

### 重点目標1 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

#### (1) 各種審議会委員等への女性の参画促進



（資料：男女共同参画課 平成12年度「男女共同参画に関する県民意識・実態調査」）

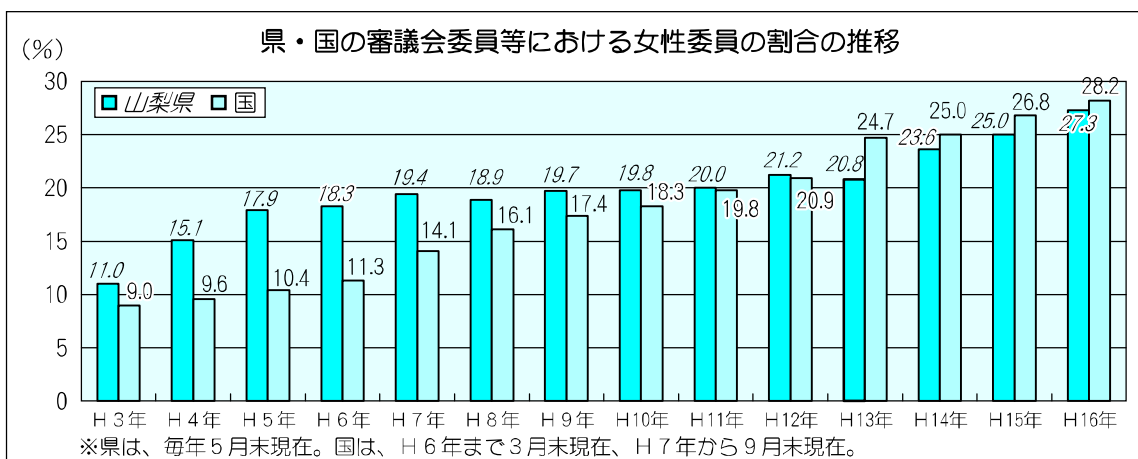
○女性の進出を図るために必要なこととして、男女とも「企業や国に対して女性の採用や登用等に目標を設けること」及び「審議会等委員に女性を積極的に任命すること」を多くの方があげています。

#### 数値目標

県の審議会委員等への女性の登用率

H18年度末：1 / 3 以上

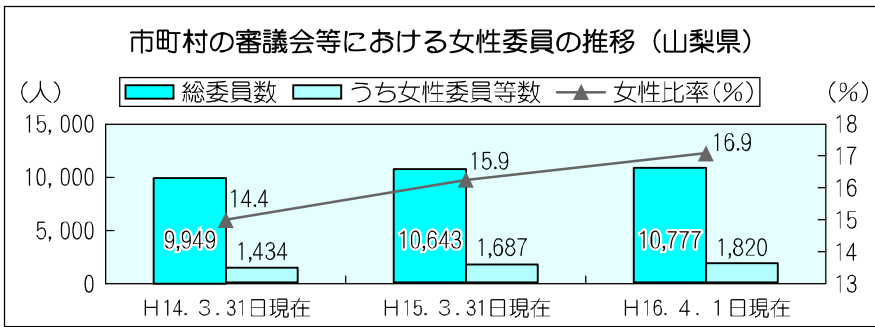
（H13年度24.0%（計画策定時））



（資料：人事課・男女共同参画課調べ）

○県の審議会委員等における女性委員の割合は、平成18年度末までに1 / 3 以上を目指しています。平成16年5月末現在では、27.3%となっています。

国の審議会委員等における女性委員の割合は、平成17年度末までの早い時期に30%を目指しています。平成16年9月現在では、28.2%となっています。



(資料：男女共同参画課調べ)

○市町村の審議会等における女性委員の割合は、平成14年3月末現在14.4%から平成16年4月当初16.9%と2.5ポイント増加しています。

数値目標

やまなし女性人材バンク登録者数  
H18年度末：200人  
(H13年度72人)

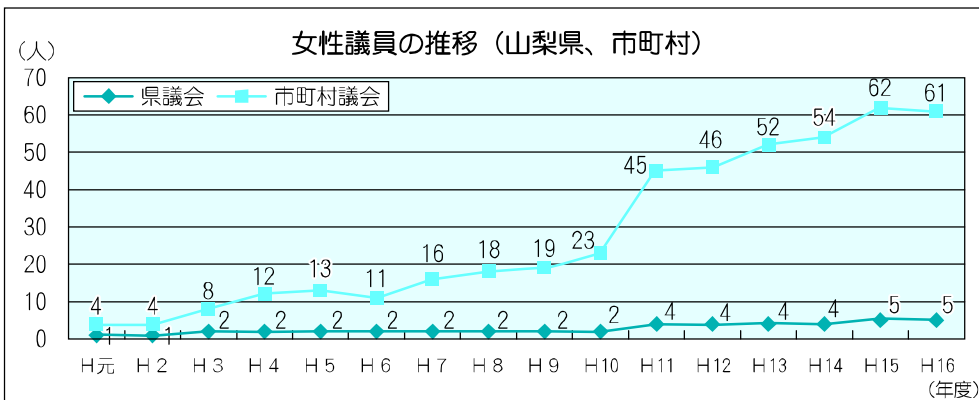
やまなし女性人材バンク登録者数

単位：人

| 年度  | H13年度 | H14年度 | H15年度 |
|-----|-------|-------|-------|
| 登録者 | 72    | 129   | 137   |

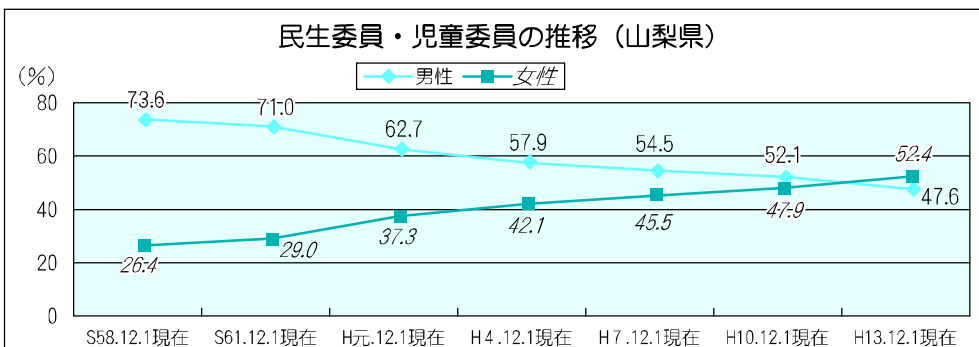
(資料：男女共同参画課調べ)

○やまなし女性人材バンクの登録者数は、平成18年度末までに200人を目指しています。平成15年度末現在では、137人となっています。平成13年度末の72人から65人増加しました。



(資料：男女共同参画課調べ)

○女性議員は、平成元年度から県、市町村とも増加傾向にあります。



(資料：福祉保健部「厚生行政ダイジェスト」)

○民生委員・児童委員は、男性が減少し、女性が増加しています。

平成13年度の一斉改選時には、男女割合が逆転しました。



医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、准看護師の状況（山梨県、全国）

| 区 分 |      | 医 師     | 歯科医師    | 薬 剤 師  | 就業保健師   | 就業看護師  | 就業准看護師  |         |
|-----|------|---------|---------|--------|---------|--------|---------|---------|
| 山梨県 | H12年 | 総 数 (人) | 1,679   | 563    | 1,208   | 514    | 4,612   | 2,286   |
|     |      | 男 性 (人) | 1,473   | 455    | 476     | 1      | 185     | 110     |
|     |      | 女 性 (人) | 206     | 108    | 732     | 513    | 4,427   | 2,176   |
|     |      | 女性割合(%) | 12.3    | 19.2   | 60.6    | 99.8   | 96.0    | 95.2    |
|     | H14年 | 総 数 (人) | 1,750   | 572    | 1,301   | 527    | 5,115   | 2,408   |
|     |      | 男 性 (人) | 1,527   | 462    | 524     | 3      | 200     | 116     |
|     |      | 女 性 (人) | 223     | 110    | 777     | 524    | 4,915   | 2,292   |
|     |      | 女性割合(%) | 12.7    | 19.2   | 59.7    | 99.4   | 96.1    | 95.2    |
| 全 国 | H12年 | 総 数 (人) | 255,792 | 90,857 | 217,477 | 36,781 | 653,617 | 388,851 |
|     |      | 男 性 (人) | 218,940 | 75,671 | 86,357  | 148    | 22,189  | 21,269  |
|     |      | 女 性 (人) | 36,852  | 15,186 | 131,120 | 36,633 | 631,428 | 367,582 |
|     |      | 女性割合(%) | 14.4    | 16.7   | 60.3    | 99.6   | 96.6    | 94.5    |
|     | H14年 | 総 数 (人) | 262,687 | 92,874 | 229,744 | 38,366 | 703,913 | 393,413 |
|     |      | 男 性 (人) | 221,548 | 76,549 | 90,827  | 189    | 26,160  | 22,726  |
|     |      | 女 性 (人) | 41,139  | 16,325 | 138,917 | 38,117 | 677,753 | 370,687 |
|     |      | 女性割合(%) | 15.7    | 17.6   | 60.5    | 99.4   | 96.3    | 94.2    |

※平成12・14年末現在 (資料：厚生労働省大臣官房統計情報部 平成12・14年「医師・歯科医師・薬剤師調査」)  
 (資料：厚生労働省大臣官房統計情報部 平成12・14年度「衛生行政報告例」)

○平成12年から平成14年にかけて、本県、全国とも医師の女性割合は増加しています。

(2) 女性職員の登用の促進

管理職の在職状況（うち一般行政職・知事部局）

| 区 分          | 管理職総数<br>(人) | うち女性<br>管理職数<br>(人) | 女性割合<br>(%) | 部局長<br>クラス<br>(人) | 次長クラス<br>(人) | 課長クラス<br>(人) |
|--------------|--------------|---------------------|-------------|-------------------|--------------|--------------|
| H15. 4. 1日現在 | 281          | 7                   | 2.49        | 1                 | 0            | 6            |
| H16. 4. 1日現在 | 289          | 7                   | 2.42        | 1                 | 1            | 5            |

(資料：人事課調べ)

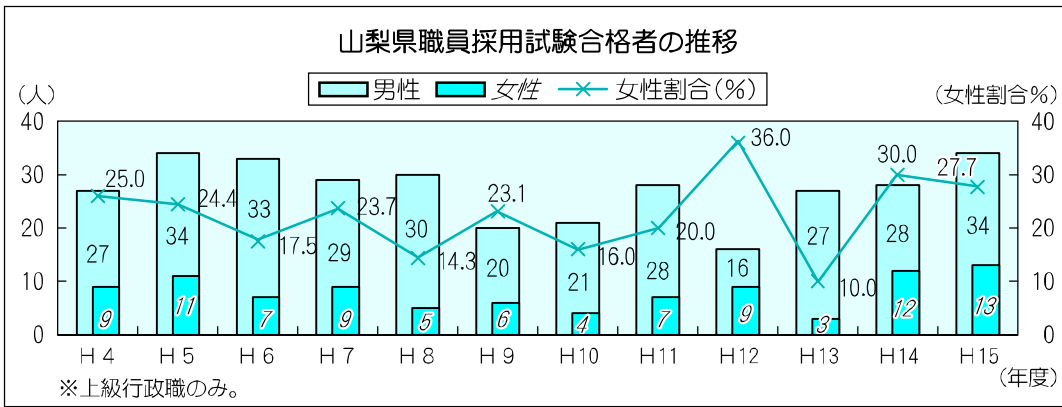
女性職員の状況（山梨県）

| 区 分      | H11年度             |                                  | H12年度             |                                  | H13年度             |                                  | H14年度             |                                  | H15年度             |                                  | H16年度             |                                  |
|----------|-------------------|----------------------------------|-------------------|----------------------------------|-------------------|----------------------------------|-------------------|----------------------------------|-------------------|----------------------------------|-------------------|----------------------------------|
|          | 女 性<br>職員数<br>(人) | 職員に<br>占める<br>女性職員<br>の割合<br>(%) | 女 性<br>職員数<br>(人) | 職員に<br>占める<br>女性職員<br>の割合<br>(%) | 女 性<br>職員数<br>(人) | 職員に<br>占める<br>女性職員<br>の割合<br>(%) | 女 性<br>職員数<br>(人) | 職員に<br>占める<br>女性職員<br>の割合<br>(%) | 女 性<br>職員数<br>(人) | 職員に<br>占める<br>女性職員<br>の割合<br>(%) | 女 性<br>職員数<br>(人) | 職員に<br>占める<br>女性職員<br>の割合<br>(%) |
| 部長級      | 0                 | 0.0                              | 0                 | 0.0                              | 0                 | 0.0                              | 1                 | 0.0                              | 1                 | 0.0                              | 1                 | 0.0                              |
| 部次長級     | 1                 | 0.0                              | 1                 | 0.0                              | 2                 | 0.0                              | 1                 | 0.0                              | 1                 | 0.0                              | 2                 | 0.0                              |
| 参事級      | 3                 | 0.1                              | 3                 | 0.1                              | 2                 | 0.0                              | 2                 | 0.0                              | 3                 | 0.1                              | 0                 | 0.0                              |
| 課長級      | 28                | 0.6                              | 28                | 0.6                              | 26                | 0.6                              | 34                | 0.8                              | 31                | 0.7                              | 31                | 0.7                              |
| 監・幹級     | 20                | 0.5                              | 21                | 0.5                              | 19                | 0.4                              | 17                | 0.4                              | 15                | 0.3                              | 19                | 0.4                              |
| 主幹級      | 35                | 0.8                              | 33                | 0.7                              | 50                | 1.1                              | 57                | 1.3                              | 66                | 1.5                              | 65                | 1.5                              |
| 副主幹級     | 106               | 2.4                              | 125               | 2.8                              | 125               | 2.8                              | 130               | 2.9                              | 122               | 2.8                              | 117               | 2.7                              |
| 主査級      | 84                | 1.9                              | 75                | 1.7                              | 82                | 1.9                              | 78                | 1.8                              | 67                | 1.5                              | 56                | 1.3                              |
| 副主査級     | 156               | 3.5                              | 158               | 3.6                              | 151               | 3.4                              | 148               | 3.4                              | 149               | 3.4                              | 164               | 3.8                              |
| 主任級      | 324               | 7.3                              | 335               | 7.6                              | 341               | 7.7                              | 349               | 7.9                              | 356               | 8.1                              | 376               | 8.6                              |
| 主事級      | 490               | 11.1                             | 493               | 11.2                             | 498               | 11.3                             | 519               | 11.8                             | 536               | 12.2                             | 533               | 12.2                             |
| 主事補級     | 29                | 0.7                              | 26                | 0.6                              | 26                | 0.6                              | 26                | 0.6                              | 24                | 0.5                              | 20                | 0.5                              |
| 合 計      | 1,276             | 28.9                             | 1,298             | 29.4                             | 1,322             | 29.8                             | 1,362             | 30.9                             | 1,371             | 31.1                             | 1,384             | 31.7                             |
| 職員数(男女計) | 4,430             | -                                | 4,407             | -                                | 4,402             | -                                | 4,407             | -                                | 4,390             | -                                | 4,367             | -                                |

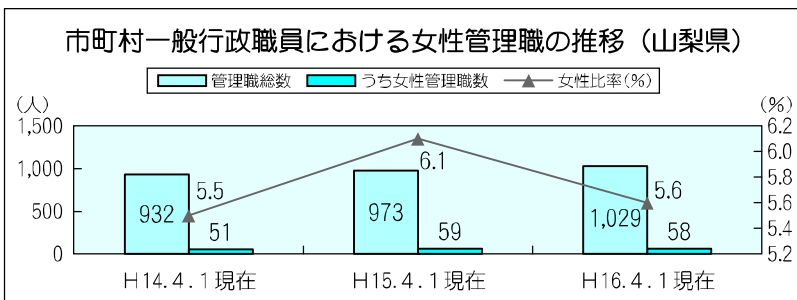
※技能労務職給料表適用者を除く。 (資料：人事課調べ)

※行政事務職のみ。

○山梨県職員行政事務職に占める女性の割合は概ね3割ですが、年々増加しています。



(資料：人事委員会調べ)



○市町村一般行政職における女性管理職は、平成14年度5.5%が、平成16年度5.6%と0.1ポイント増加しています。

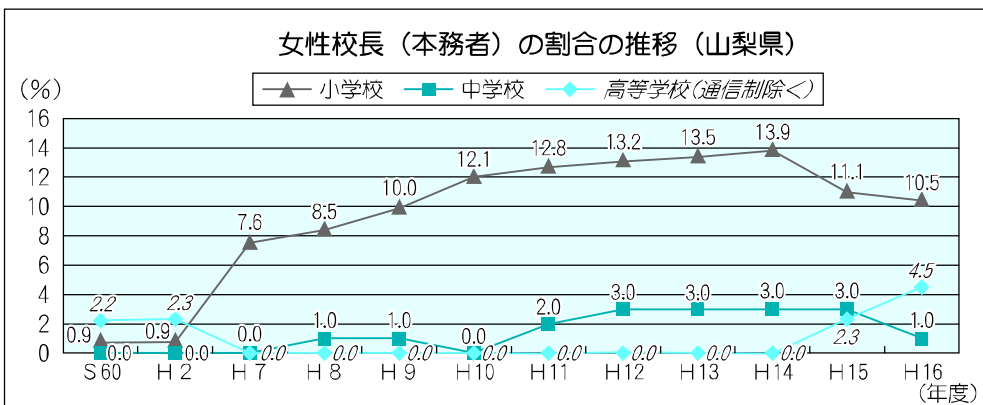
(資料：男女共同参画課調べ)

### 市町村一般行政職の地位別職員数 (山梨県)

| 区分       | 職員数(人) | うち女性  |      | 課長級(人) | うち女性 |     | 課長補佐級(人) | うち女性 |      | 係長級(人) | うち女性 |      |
|----------|--------|-------|------|--------|------|-----|----------|------|------|--------|------|------|
|          |        | 人     | %    |        | 人    | %   |          | 人    | %    |        | 人    | %    |
| H12年4月1日 | 5,514  | 1,453 | 26.4 | 833    | 33   | 4.0 | 392      | 48   | 12.2 | 1,719  | 350  | 20.4 |
| H13年4月1日 | 5,493  | 1,409 | 25.7 | 834    | 35   | 4.2 | 396      | 52   | 13.1 | 1,665  | 316  | 19.0 |
| H14年4月1日 | 5,461  | 1,391 | 25.5 | 832    | 31   | 3.7 | 418      | 55   | 13.2 | 1,665  | 328  | 19.7 |
| H15年4月1日 | 5,494  | 1,376 | 25.0 | 830    | 37   | 4.5 | 391      | 46   | 11.8 | 1,662  | 335  | 20.2 |

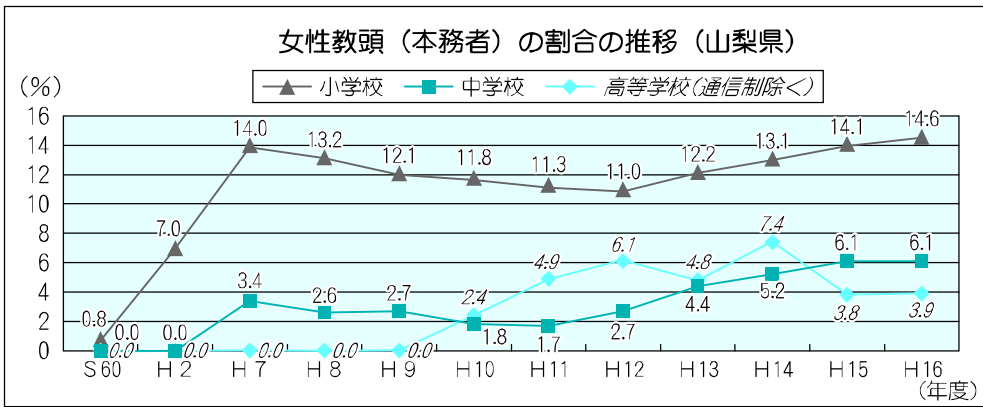
(資料：市町村課調べ)

○県内市町村の一般行政職の女性の割合は、若干ですが減少しています。しかし、課長級の女性の割合は増加しています。



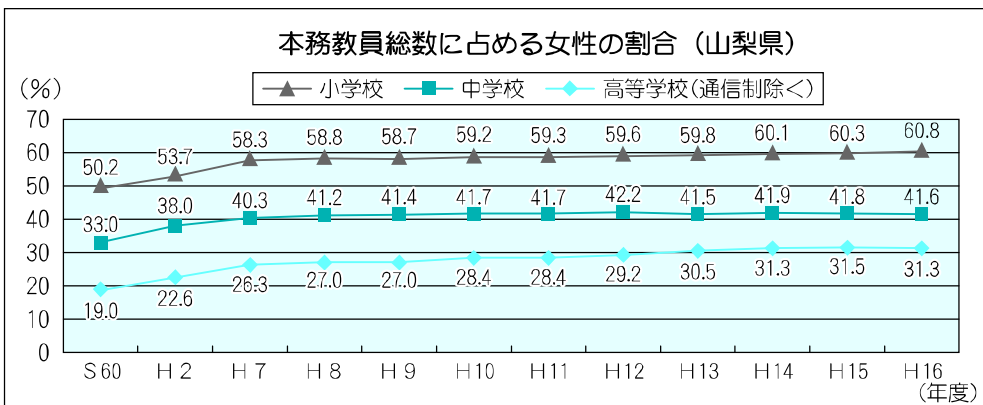
(資料：教育庁総務課「教育便覧」)

○平成16年度では、女性校長の割合が高い順に、小学校、高等学校、中学校となっております。



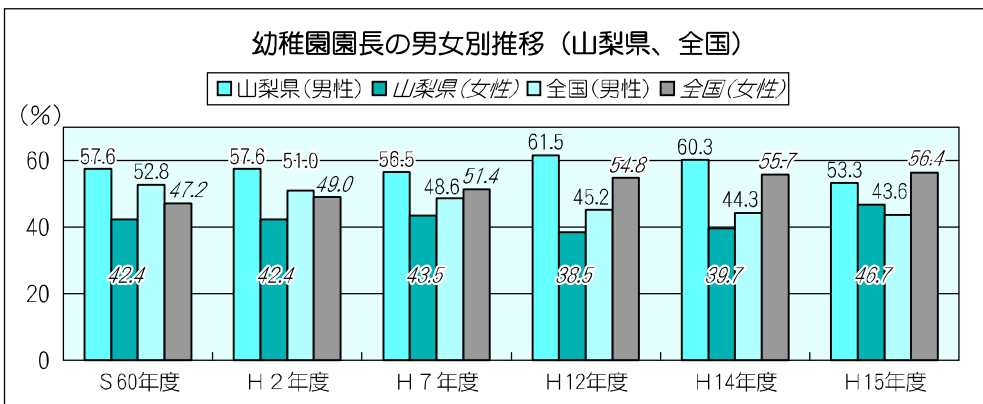
(資料：教育庁総務課「教育便覧」)

○平成16年度では、女性教頭の割合が高い順に、小学校・中学校・高等学校となっています。



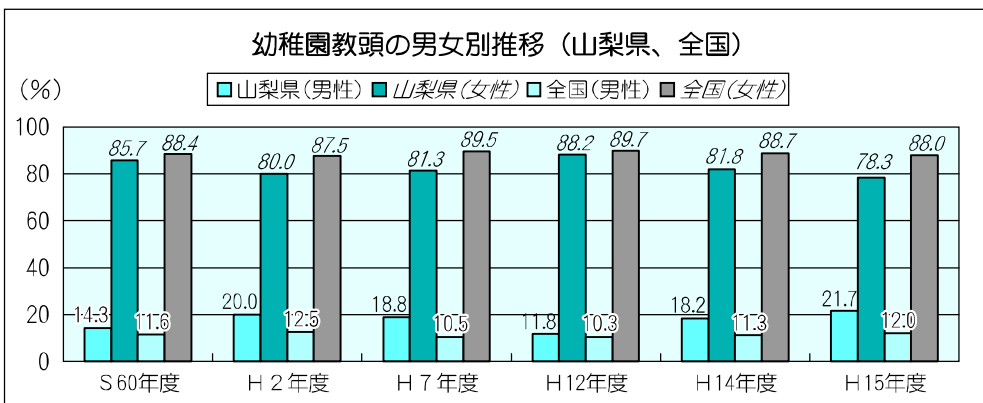
(資料：教育庁総務課「教育便覧」)

○本務教員総数に占める女性割合は、概ね、小学校6割、中学校4割、高等学校3割となっています。



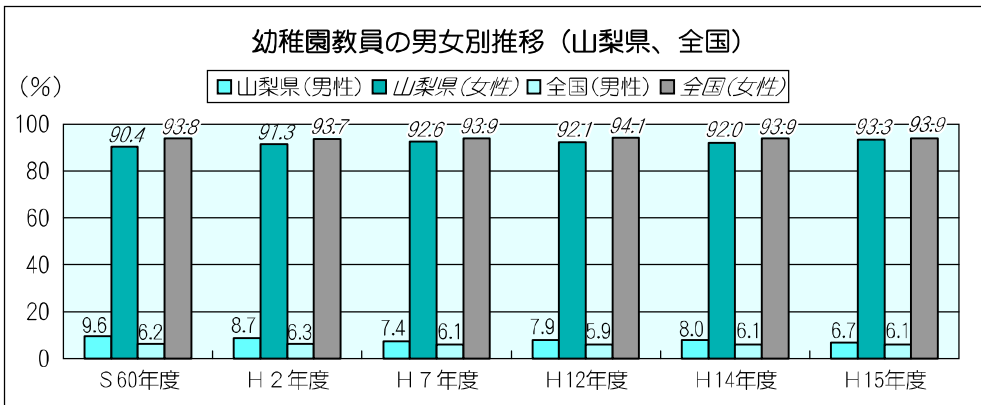
(資料：文部科学省「学校基本調査報告書」)

○昭和60年度から平成15年度にかけて、本県、全国とも女性園長の割合は増加傾向にあり、男性園長の割合は低下傾向にあります。



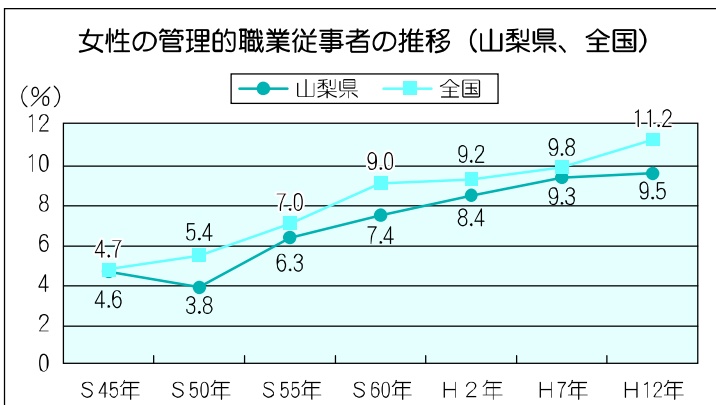
(資料：文部科学省「学校基本調査報告書」)

○昭和60年度から平成15年度にかけて、本県、全国とも女性教頭の割合は低下傾向にあり、男性教頭の割合は増加傾向にあります。



○女性の幼稚園教員は、本県、全国ともに9割を越えています。

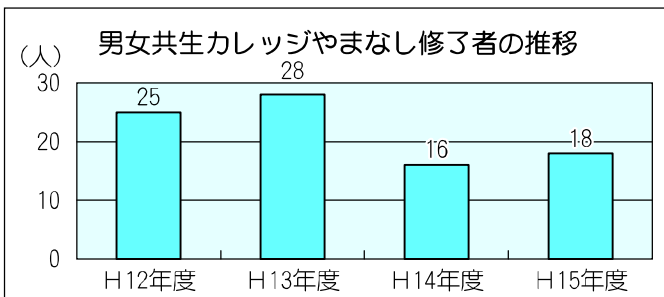
（資料：文部科学省「学校基本調査報告書」）



○女性の管理的職業従事者に占める割合は、年々増加し、本県は、平成12年には9.5%となっています。昭和50年からの25年間で、5.7ポイント上昇していますが、全国より低くなっています。

（資料：総務省統計局「国勢調査報告」）

### (3) 女性の人材育成



○男女共生カレッジでは、地域の活動や学習活動における指導者を養成しています。

（資料：社会教育課調べ）

## 重点目標2 男女平等の視点に立った社会慣行の見直し

### (1) 家庭及び地域における慣習の見直し

#### 数値目標

社会全体における男女の不平等を感じる人の割合《男性優遇》

H18年度末：24.0%以下（H12年度48.2%）

「夫は外で働き、妻は家庭」という考えに賛成の人の割合

H18年度末：19.0%以下（H12年度37.9%）

「夫は外で働き、妻は家庭」という考えに反対の人の割合

H18年度末：50.0%以上（H12年度22.7%）

## (2) 職場における慣行の見直し

### 職場環境の問題について

単位：％

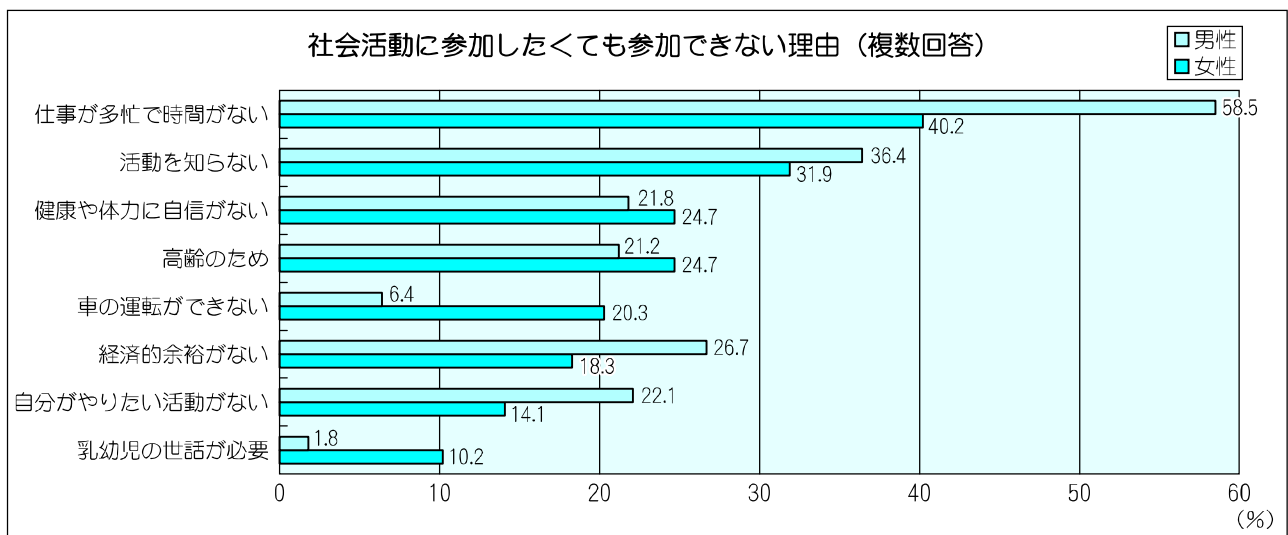
| 項目                                | 性別 | 当然だと思う | 仕方がないと思う | 改善すべきだと思う | 分からない | 無回答  |
|-----------------------------------|----|--------|----------|-----------|-------|------|
| 育児休業や介護休業を取得する人に対する評価が低い          | 男性 | 3.2    | 17.3     | 53.7      | 12.4  | 13.4 |
|                                   | 女性 | 1.3    | 10.5     | 58.8      | 12.4  | 17.0 |
| 管理職への登用や昇進・昇格など男女差がある             | 男性 | 2.7    | 24.2     | 48.7      | 11.6  | 12.7 |
|                                   | 女性 | 1.5    | 17.1     | 51.1      | 13.2  | 17.0 |
| パートと正社員に待遇差がある                    | 男性 | 13.9   | 38.1     | 29.7      | 6.3   | 12.1 |
|                                   | 女性 | 6.6    | 36.6     | 32.7      | 7.3   | 16.8 |
| 女性の能力や実績が正当に評価されていない              | 男性 | 1.6    | 6.9      | 57.9      | 20.3  | 13.2 |
|                                   | 女性 | 0.8    | 6.4      | 59.5      | 16.1  | 17.2 |
| 女性を雑用に使ったり、中高年女性に退職を促す圧力がある       | 男性 | 0.8    | 10.3     | 54.2      | 21.9  | 12.7 |
|                                   | 女性 | 1.1    | 6.5      | 58.3      | 16.4  | 17.8 |
| 自営業や農林業など家業に従事する女性には、決まった給与や休暇がない | 男性 | 2.6    | 29.4     | 43.1      | 13.4  | 11.6 |
|                                   | 女性 | 1.9    | 22.1     | 51.6      | 11.7  | 12.7 |

(資料：男女共同参画課 平成12年度「山梨県男女共同参画に関する県民意識・実態調査」)

○女性に対し「能力や実績が正当に評価されていない」「育児休業や介護休業の取得する人への評価が低い」「登用や昇進等の格差」「雑用に使ったり中高年に退職を促す圧力がある」「農林業などで決まった給与や休暇がない」の項目で、「改善すべきだと思う」の意向が高くなっています。しかし、「パートと正社員の待遇差」は、「仕方がないと思う」という割合が他の項目より高くなっています。

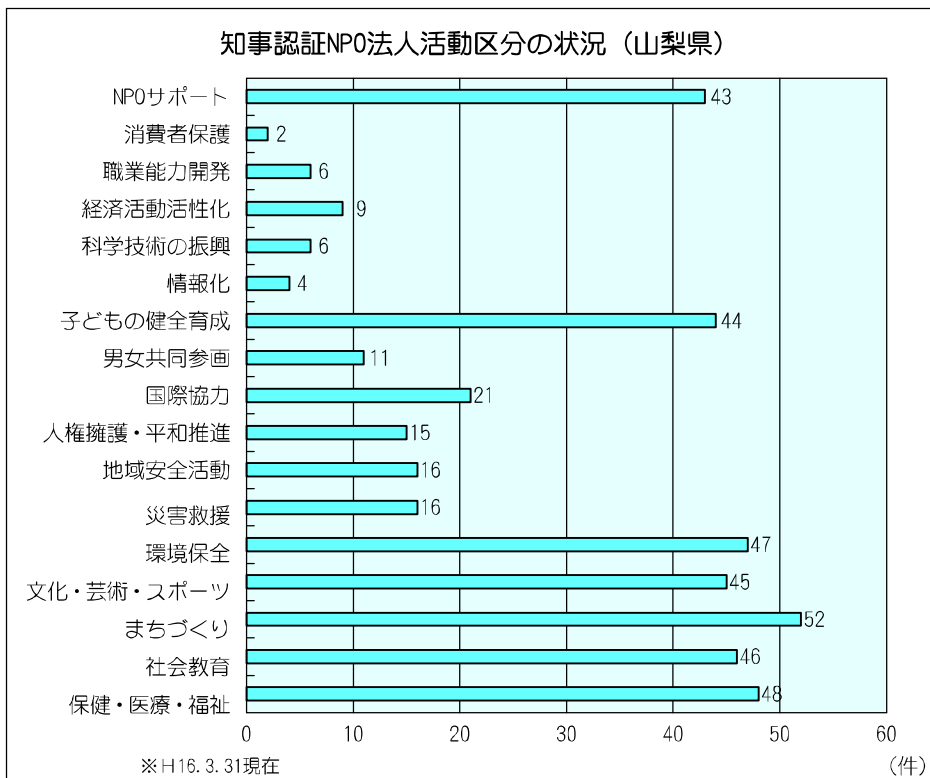
## 重点目標3 地域社会への男女共同参画の促進

### (1) 地域社会活動への男女共同参画の促進



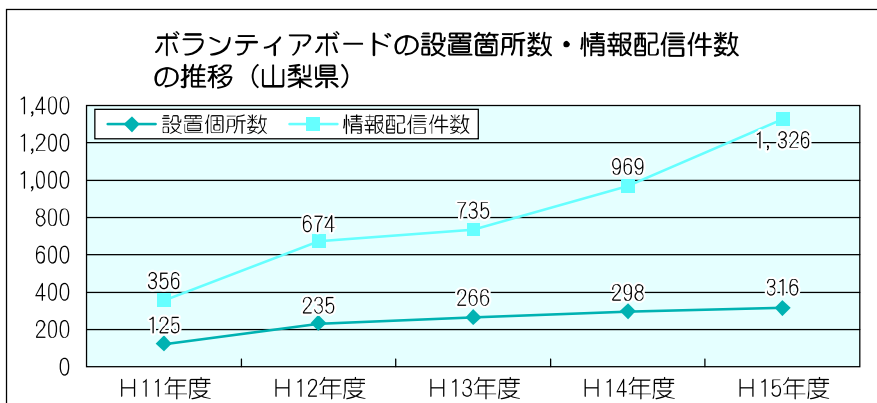
(資料：男女共同参画課 平成12年度「男女共同参画に関する県民意識・実態調査」)

○男女とも「仕事が多忙で時間がない」「活動を知らない」の割合が高く、男性は女性と比較して「仕事が多忙で時間がない」の割合が高く、女性は男性と比較して「車の運転ができない」「乳幼児の世話が必要」という割合が高くなっています。



(資料：県民生活課調べ)

○知事認証のNPO法人は、平成16年3月31日現在93法人あり、活動分野として男女共同参画関係を定款に記載している法人は11団体となっています。



(資料：県民生活課調べ)

○ボランティアボードの設置箇所数及び情報配信件数とも増加しています。誰もが気軽に、ボランティアやNPO活動へ参加できるよう努めています。

## (2) 環境保全活動への参画促進

### 環境アドバイザー登録者数

単位：人

| 区分 | H7年度 | H8年度 | H9年度 | H10年度 | H11年度 | H12年度 | H13年度 | H14年度 | H15年度 |
|----|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 15   | 15   | 15   | 15    | 15    | 15    | 25    | 23    | 24    |
| 女性 | 3    | 3    | 3    | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 5     |
| 計  | 18   | 18   | 18   | 18    | 18    | 18    | 28    | 26    | 29    |

(資料：循環型社会推進課調べ)

○環境保全に関する研修会等に派遣する環境アドバイザーは、地域住民の環境保全意識の高揚と、環境保全活動の実践を促しています。

## 重点目標4 国際社会を視野に入れた男女共同参画の促進

### (1) 国際社会の情報収集及び提供

やまなし女性リーダー養成海外研修事業参加者の推移

単位：人

| 年度  | S 60年度                 | S 61年度               | S 62年度                | S 63年度                | H 元年度                | H 2年度                 | H 3年度              |
|-----|------------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|--------------------|
| 研修先 | スウェーデン<br>イギリス<br>オランダ | 西ドイツ<br>イギリス<br>フランス | ノルウェー<br>イギリス<br>フランス | イギリス<br>ノルウェー<br>フランス | スイス<br>ノルウェー<br>西ドイツ | ドイツ<br>イギリス<br>スウェーデン | ドイツ<br>スイス<br>イギリス |
| 参加者 | 21                     | 20                   | 20                    | 20                    | 23                   | 20                    | 20                 |

| 年度  | H 4年度       | H 5年度                    | H 6年度                 | H 7年度                    | H 8年度              | H 9年度     | H 10年度      |
|-----|-------------|--------------------------|-----------------------|--------------------------|--------------------|-----------|-------------|
| 研修先 | アメリカ<br>カナダ | オーストリア<br>イギリス<br>スウェーデン | スウェーデン<br>ドイツ<br>オランダ | イギリス<br>フランス<br>中国(北京会議) | インド<br>タイ<br>マレーシア | インド<br>タイ | インド<br>ベトナム |
| 参加者 | 20          | 20                       | 21                    | 30                       | 21                 | 19        | 21          |

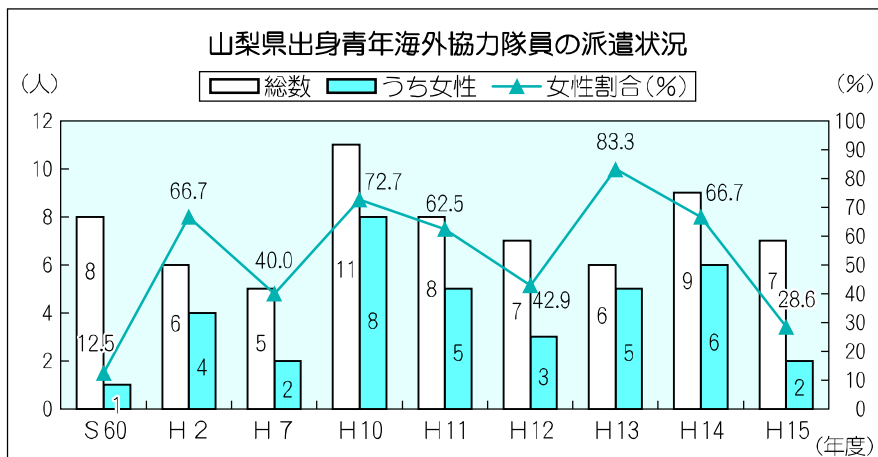
  

| 年度  | H 11年度        | H 12年度                  | H 13年度 | H 14年度 | H 15年度  |
|-----|---------------|-------------------------|--------|--------|---------|
| 研修先 | フランス<br>ノルウェー | フランス<br>ノルウェー<br>スウェーデン | 中止     | デンマーク  | オーストラリア |
| 参加者 | 14            | 16                      |        | 17     | 16      |

(資料：男女共同参画課調べ)

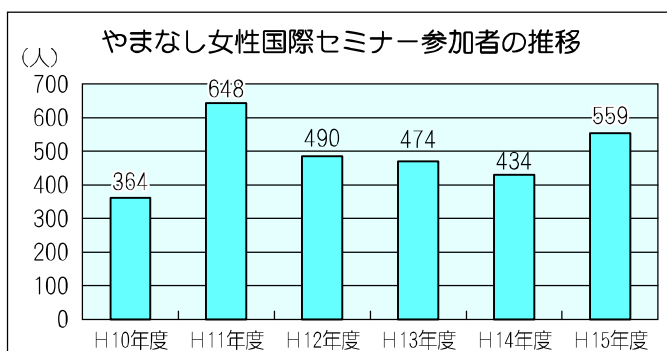
○延べ359名の女性が海外で研修を実施し、研修後は地域の課題解決に取り組んでいます。

### (2) 国際交流・国際協力活動等への参画促進



○派遣状況を見ると、多くの女性が活躍しています。

(資料：国際課調べ)



○女性を取り巻く課題や国際理解・国際交流に関する諸課題を女性の立場から研鑽するセミナーを開催し、地域の指導者を養成しています。

(資料：社会教育課調べ)